

八木 秀次ゼミナール【経済-24 クラス】

【題目】憲法を中心として我が国法体系の理解

【到達目標】政治・経済・社会に関する諸問題を理解し、解決策を提示できるようになる。

【講義内容】講義やいつかの基本的な文献を輪読することで問題意識を持ち、その後、各自が関心を持つテーマについて発表をする。他流試合として毎年1月に開催される民間の弁論大会へ論文応募し、本選への出場を目指す。

【授業計画】

第1回 ガイダンス

第2回 講義

第3回 講義

第4回 講義

第5回 講義

第6回 輪読

第7回 輪読

第8回 輪読

第9回 輪読

第10回 輪読

第11回 受講生による発表、講評

第12回 受講生による発表、講評

第13回 受講生による発表、講評

第14回 受講生による発表、講評

第15回 受講生による発表、講評

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的好奇心	◎
本質を理解する力	◎
論理的に考える力	◎
多様性を理解する力	◎
チームワークよく成し遂げる力	◎
様々な人と対話する力	◎
他者の立場と痛みを感じる力	◎
意志や情報を発信する力	◎
自ら行動する力	◎
自己を受け止める力	◎
自己反省する力	◎
自信を生み出す力	◎

【教科書】『憲法改正がなぜ必要か』など八木の著書や論文

【参考文献】適宜指示する。

【評価方法】受講態度などを考慮した総合評価

【履修の条件】特になし

【聴講生・科目等履修生受入】可

【他学科生・他専攻生受入】可

【他学部生受入】可

【当該科目に関連する開設科目】特になし

【使用言語】日本語

【担当者からの一言】経済学や経営学にとどまらず、広く世の中に関する興味を持てるようなゼミナールを目指しています。思考力を鍛えたいと思っています。